

■高島平三郎 児童心理学者。独学で、児童心理学研究草分けとなり、全人教育に生涯をかけ、感銘を与え続けた。

たかしまへいざぶろう

薩摩藩士密航1865＝ 福山藩士高島賢斎の三男として江戸阿部侯邸内に生れる。

明治維新・・1868＝ 3歳：アメリカ船で品川沖から鞆經由して、福山に移住、

明治6年政変 1873＝ 8歳：
佐賀の乱・・1874＝ 9歳：

西南戦争・・1877＝12歳：西町上小学校、藩校誠之館で学び、
大久保暗殺・1878＝13歳：広島師範学校福山分校に入学、

卒業して、西町上小学校教員となり、
明治14年政変1881＝16歳：神村小学校須江分校教員、
新体詩抄・・1882＝17歳：検定試験で広島県小学校初等科教員免許を取得し、松永、金江小学校教員となり、熱心に生徒を教導するとともに、漢学・数学・英語などの識者に私淑して独習。真摯な態度・卓越した教育実践が広く知られ、
岩倉具視没・1883＝18歳：
秩父事件・・1884＝19歳：松永で開かれた伝習所で師範科を修了すると、**金江小学校長に抜擢され、**

国民之友始・1887＝22歳：***広島県師範学校訓導に転じ、東京高等師範学校教授掛補助に栄転、東京に移住、**
初の対条約1888＝23歳：東京英語学校で英文学を修める。**学習院教師に招聘される。**

帝国憲法発布1889＝24歳：

大津事件・・1891＝26歳：**帝国大学文科大学教授元良勇次郎の指導で哲学・倫理学・心理学を学び、**
大本教・・・1892＝27歳：

さらに独学で、教育学・児童心理学などを研究し、日本の教育界に重要な貢献の素地を築き、

日清戦争始・1894＝29歳：

白馬会・・・1896＝31歳：一旦、長野県師範学校に勤め、

子規句歌革新1898＝33歳：東京に戻って、成城学校ほか、いくつかの学校を経ながら、***「心理漫筆」以降、社会教育者・心理学者・著述家として、児童心理・家庭教育などに関する著書を毎年一冊以上の出版し続け、新聞雑誌にもかかわらず寄稿して、啓蒙に努めて行く。**

田中正造直訴1901＝36歳：日本体育会体操学校校長、
弘文学院・哲学館大学(後の東洋大学)・独乙協会で教鞭をとり、私立女子高等学園・立正高等女学校校長として青年子女の育成に貢献、

日比谷公園・1903＝38歳：日本女子大学校教授に就任。**「家庭教育講話」、**

日露戦争始・1904＝39歳：「体育原理」、

日露戦争終・1905＝40歳：

満鉄発足・・1906＝41歳：日蓮宗大学(立正大学)教育学教授、東洋大学心理学教授、

伊藤博文暗殺1909＝44歳：**「児童心理講話」、**
韓国併合・・1910＝45歳：**「児童を語る文学」、**
大逆事件判決1911＝46歳：「女子教育学」。日本女子大学校教授を辞任。
明治天皇没・1912＝47歳：誠之舎舎長、

第一次大戦始1914＝49歳：「心理学上より観たる日蓮上人」。**「児童心理学」、**

民本主義・・1916＝51歳：**「児童の精神生活」など、**

ロシア革命・1917＝52歳：内務大臣より民力涵養講師を囑託される。

子どもに対する限りない愛情を基軸とした理論と豊かな人格で当時の学生に深い感銘を与えた。

ベルサイユ条約・1919＝54歳：

原敬首相暗殺1921＝56歳：

金融恐慌・・1927＝62歳：**東京立正中等高等学校学校長(初代)。**

共産党事件・1928＝63歳：教育功労者表彰、勲五等瑞宝章。

満州事変・・1931＝66歳：

日中戦争始・1937＝72歳：

大政翼賛会・1940＝75歳：***教えを受けたものを始め、数千名が「高島先生教育報国六十年記念会」を結成し、祝賀会と共に記念冊子を出版してその功績を讃えた。**

日米開戦・・1941＝76歳：福山学生会会長。

年金+総武装 1944＝79歳：**東洋大学学長となったが、**

敗戦・・・1945＝80歳：**敗戦目前で辞任し、**

新憲法公布・1946＝81歳：***全生涯を教育に捧げて、没した。**
漢詩、和歌、書道もまた一家を為した。

インターネット「誠之館人物誌」、